

平成 29 年度地域医療連携懇話会のお礼



院 長 榎 野 新
副院長・
地域医療連携室長 笹 重 善 朗

いつも中国労災病院の運営にはひとかたならぬご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて 5 月 25 日に開催致しました中国労災病院地域医療連携懇話会には、お忙しい中、原呉市医師会長様をはじめ多数の先生方、スタッフの皆様方にご参加いただき、お蔭様で盛会のうちに会を閉じることができました。ありがとうございました。

前半の連携懇話会では、当院スタッフ紹介の後、中川副院長から平成 28 年度の病院運営状況報告と、前もって皆様からいただいたアンケート結果に対する当院の考え方を話しさせていただきました。また後半の意見交換会では、当院職員との『顔の見える連携』に少しでもお役に立てればと考えていましたが、その目的を十分に果たすことができたのではないかと考えています。

近年、急性期病院に対する施設基準が厳しくなって来ています。平成 30 年度の診療報酬改定では更に厳しくなると思われませんが、これに加え、最近では「罰則のついた働き方改革」が議論されています。医師に対しては 5 年間の猶予期間が付きましたが、今から 7 年後には実施され、これが厳密に適応されると地域の急性期医療は成り立たなくなるのではないかと心配しています。

しかし、この地域における当院の役割を考えると、私たちには急性期病院であり続ける以外に選択肢はありません。私たちはこれからも当院の役割を十分に果たしていくことができるよう力を尽くしてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 29 年 5 月 26 日